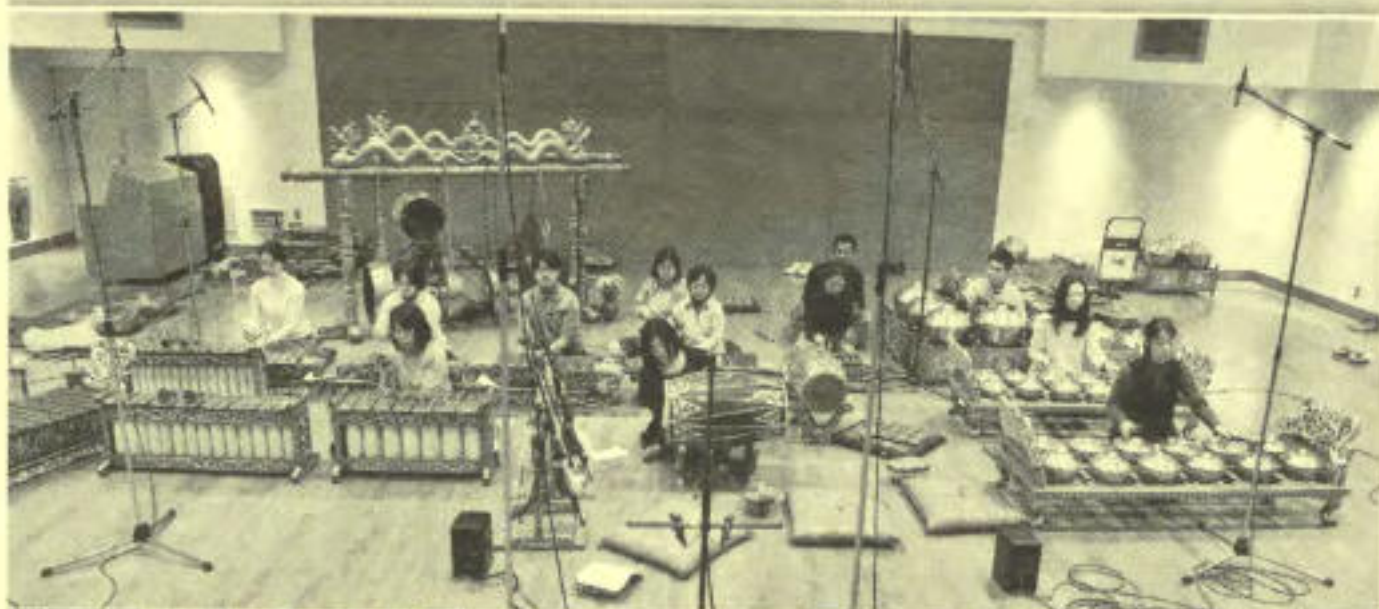


CD録音～ジャワ・ガムランとリードオルガン～



高い評価を得ている楽器博物館コレクションシリーズ CD の新録音が 1 月と 2 月に行われました。録音した楽器は、日本以外のアジアの楽器として初登場の、インドネシア、ジャワ島のガムランと、100 年以上も前の、浜松の楽器産業の原点である足踏み式リードオルガンの 2 種類です。

博物館が所蔵するジャワのガムランは、インドネシアの古都ソロ（スラカルタ）スタイルで、1997 年頃に製作された豪華なもの。これまで何度もコンサートやワークショップで演奏してきましたが、4 年前に全面調律を行い、その後も演奏を続けて響きも随分と良くなってきたことから、いよいよ録音に踏み切りました。演奏は、日本のガムラングループとして歴史が古く優れた演奏で定評のある東京のグループ、ランバン・サリの皆さん。ガムラン古典曲から現代曲、影絵人形劇ワヤン・クリットで使われる曲など、広く深いガムランの世界を紹介し、初心者でも楽しめるようにと難解でない曲を集めたプログラムとなりました。

いわゆる民族楽器を、その民族でない日本人が演奏するのはなぜ、と思われるかもしれませんが、

それは西洋音楽とて同じことで、それだけ日本人の演奏レベルが高くなり現地の人に引けを取らないということと、異民族だからこそ発見できる新たな価値を発信するためでもあります。

リードオルガンは明治初期に日本に入り、その後国産化され、学校教育の唱歌伴奏とキリスト教会で大活躍した楽器です。昭和 40 年代以降はピアノや電子オルガンにその位置を譲りましたが、最近再びその魅力が注目されています。リードオルガンのレクチャーコンサートを昨年 12 月に行いましたが、あまりにも素晴らしいコンサートだったので、心が熱いうちに CD にしよう！とオルガン奏者の鈴木開さんとヴォーカルの鈴木重子さん、それに嶋館長の意見が一致、急速 2 月に録音をしました。演奏はコンサートの時よりも一層熟したものとなり、19 世紀アメリカ製のオルガンと 20 世紀初めの浜松製のオルガンのエレガントな音色と、優しい歌声が見事に溶け合い、素晴らしい録音となりました。

どちらも年内の完成発売を目指しています。どうぞご期待ください。

第125回レクチャーコンサート
「森の響き・ヴァルトホルン」



フラメンコはスペインの伝統芸能です。18世紀末迫害を受けたジプシーがその思いを歌に込めたのが始まりと言われています。伴奏楽器として始まったフラメンコギターですが、今では歌や踊りの伴奏のほかに独奏でも演奏されます。今回はフラメンコギターの鈴木尚さん、浜松ゆかりの芸術家の大塚友美さんをはじめ日本国内や世界で活躍する4名をお招きしました。会場全員でフラメンコのリズムを手拍子で刻むなど、聴衆はフラメンコギター、カンテ（歌）、踊りの魅力にとけ込み、大変盛り上がりました。

日時：平成24年1月25日（水） 19:00～21:00
会場：アクトシティ音楽工房ホール
出演：鈴木尚（ギター）阿部真（カンテ）大塚友美（踊り）
土屋香（踊り） 入場者：251人

ブラームスは管を巻いただけのバルブのついていないナチュラルホルンをヴァルトホルン（森のホルン）と呼び自身も愛奏していました。コンサートではヴァルトホルンの歴史と演奏法を説明した後、演奏機会の少ないブラームスの名曲「ホルン三重奏曲」が演奏されました。ほかにヴァイオリン・ソナタ第1番ト長調作品78「雨の歌」、4つの小品 作品119が演奏されました。3つの楽器が織り成すドイツ後期ロマン派の世界を存分に愉しんだひと時でした。

日時：平成24年1月21日（土） 14:00～16:00
会場：アクトシティ音楽工房ホール
出演：塚田聡（ヴァルトホルン）小倉貴久子（フォルテピアノ）
桐山建志（ヴァイオリン） 入場者：102人

第126回レクチャーコンサート
「フラメンコ～ギターと歌と踊りの恍惚～」



セルバンとはフランス語で「蛇」、コルネットはイタリア語で「小さい角」という意味です。どちらも金管楽器のように唇を震わせて演奏しますが、金属ではなく木でできています。セルバンが誕生した頃コルネットは使われていなかったようなので、この2つの楽器の合奏は現代ならではのものです。セルバンは温かみがあり、コルネットは明るく輝かしい音がしました。ほかにハーブ、リコーダー、飛び入り出演の古橋潤一さんのドルツィアン（ファゴットの前身の楽器）を含めて、チャコナ《淋しい女》など7曲を演奏しました。怪しくも魅力あるハーモニーが会場に響き渡りました。

日時：平成24年2月3日（金） 19:00～20:30
会場：楽器博物館天空ホール
出演：濱田芳通（コルネット）橋本晋哉（セルバン）
西山まりえ（ハーブ） 入場者：57人

第127回レクチャーコンサート
「木のラッパ～セルバンとコルネット～」



サムルノリとは韓国の伝統打楽器である「チン」「ケンガリ」「チャンゴ」「ブク」を用いた現代音楽です。農楽（ノンアク）という農村地域にみられるお祭りの音楽や衣装が基となっています。出演は、リチャンソブベサムルノリの皆さん。オープニングでは、観客席の後方から華やかに楽器を打ち鳴らしながらの登場。お話の中では「韓国の音楽はエネルギーを一箇所に集中して集めたり、それを解いたりするのが特徴」とおっしゃっていました。出演者の熱のこもった迫力のある演奏は観客を魅了しました。

日時：平成24年2月18日（土）14:00～16:00
会場：アクトシティ音楽工房ホール
出演：李昌燮（サムルノリ）リチャンソブ、安部真由美、
内田恭介、後藤由紀、野口侑子、谷中謙一
入場者：113人

第128回レクチャーコンサート
「驚異の韓流打楽サムルノリ」



講座 「民族楽器による音楽セラピー（第2回） みんなで輪〜ドラムサークル〜」



この講座は、開館以来開催している連続講座です。講師の西岡信雄さんが楽器や音楽の謎にさまざまな視点からアプローチします。今年度は、日本の知られざる奇祭を紹介しました。第51回では仮面の男が太鼓を打ち鳴らす勇壮な舞。第52回では朝鮮通信使の衣装や踊り、楽器を真似た郷土芸能。第53回のボゼ祭りでは奇怪な仮面神が登場。日本のお祭りからひもとく楽器や音楽のおはなしに受講者は聞き入っていました。

第51回「石川県輪島 御陣東太鼓/佐賀県鹿島 浅海面浮立」1/24(火)
第52回「三重県津 唐人踊り/三重県鈴鹿 唐人踊り/岡山県牛窓 唐子踊り」2/7(火)、第53回「鹿児島県いちき串木野 市米の七夕踊り/鹿児島県石島 ボゼ祭り」2/21(火) いずれも18:45～20:15

会場：楽器博物館展示室 受講者：延べ43人
講師：西岡信雄（大阪音楽大学名誉教授、浜松市楽器博物館名誉館長）

「音楽セラピー」とは、音楽を聴いたり演奏したりすることで心身の状態を向上させようという行為です。今回は、ジェンベ、クンダン、コンガ、ボンゴなど世界のドラムを使用して参加者全員で楽しくドラムを叩きました。講師はおなじみのロビン・ロイドさんです。

ドラムサークルはみんなで一緒に気軽に叩ける、というのが最大の魅力。講座ではロビンさんの出す太鼓のリズムを真似したり、強弱をつけたり、グループに分かれてセッションをしたりしました。太鼓を通してのコミュニケーションは大変楽しいひと時となりました。

日時：平成24年1月29日(日)14:00～16:00

会場：アクトシティ研修交流センター

講師：ロビン・ロイド 受講者：19人

講座 「楽器の中の聖と俗」



2009年度より始まった明治大学名誉教授の江波戸昭さんによる連続講座。今年度は貴重な映像や音源と共にアフリカ各地の特色ある音楽文化を、紹介しています。南アフリカ音楽の研究者であるヒュー・トレイシーのエピソードや「トーキング・ドラム（お話太鼓）」による通信手段など、興味深い話が繰り広げられました。河川や湾岸、オアシスを中心に形成された輝かしい文化に触れることができました。

第1回「海岸に花開いたスワヒリ文化」10/8(土)14:00～16:00

第2回「南アフリカのポリフォニー」1/14(土)14:00～16:00

第3回「コンゴ川を渡る」3/3(土)14:00～16:00

第4・5回（同時開催）「ギニア海岸の三角貿易」「サヘルグリオたち」3/17(土)13:30～16:30

会場：アクトシティ研修交流センター（第2・3回）

楽器博物館展示室（第1・4・5回）

講師：江波戸昭（明治大学名誉教授）受講者：延べ59人

講座 「アフリカ民族音楽紀行」



チャンゴは韓国の伝統的な太鼓です。朝鮮半島の人々にとても親しまれている楽器で、例えばチャンゴの伴奏にのせて歌を歌ったり、踊ったりします。楽器は桐の胴で出来ており、犬や牛などの皮を太鼓の両面に張り両手にバチを持って叩きます。

講座を担当して下さったリチャンソブさんからチャンゴの基本的な叩き方やリズムを教わりました。また、「人が生まれて成長を通じ、死を迎えて土にかえる」という自然の摂理を音で表現するという精神的なお話もありました。講座の休憩中には参加者の熱心な質問がとびかいました。

日時：平成24年2月19日(日)18:00～20:00

会場：楽器博物館展示室

出演：リチャンソブ 参加者：10人

ワークショップ

「韓国の伝統太鼓"チャンゴ"を演奏しよう！」



「写真で見る・世界遺産ガリフナの音楽と踊り」開催中



1月4日より、ガリフナの音楽と踊りを写真と映像で紹介する小さな企画展を開催しています。ガリフナとは中米カリブ海沿岸に住む黒人社会のことで、ベリーズ、ホンジュラス、ニカラグアの3カ国に及びます。またガリフナの言語、舞踏と音楽は2001年にユネスコの世界無形文化遺産に指定されています。展示している写真と映像は弘前大学准教授でガリフナ研究者でもある富田晃氏提供のもの。重要な太鼓ガラオンや聖なる道具のマラカス、亀の甲の打楽器など、貴重な楽器の実物も展示しています。この展示は6月30日まで開催しています。

◆これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日数回
チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- 企画展
「写真で見る・世界遺産ガリフナの歌と踊り」
4/1(日)～6/30(土)
「スイングする鉄筋彫刻～徳持耕一郎作品による～」
5/2(水)～5/20(日)
- レクチャーコンサート
「コリアの歌と音と舞・陰陽の織り成す美の世界」
5/5(土) 18:30 天空ホール
出演：アンソンミン、リチャンソプ、パクソニョン、
キムオル、キムイルチ
「酔いしれて、タンゴ」
6/10(日) 14:00 音楽工房ホール
出演：チコス・デ・バンバ(4人編成)
「踏行無常 盛者必衰～平家琵琶を聴く・語る～」
6/17(日) 14:00 音楽工房ホール
出演：鈴木まどか、古川久美子
「フンフルトゥ～南シベリア、トゥバ共和国の驚異の喉歌と楽器たち～」
6/27(水) 19:00 天空ホール
出演：フンフルトゥ(トゥバ共和国4人編成)、等々力政彦
- イブニングサロン
「最小のアンサンブル～フラウト・トラヴェルソ・デュエット～」
5/30(水) 19:00 出演：有田正広、岩井春菜
「弦楽四重奏～ドヴォルザーク “アメリカ”」
6/4(月) 19:00
出演：アンサンブル∞無限(川田知子、山本友重、
穂崎友美、山本裕康)
「魅せられて、バンドネオン」
6/9(土) 18:30 出演：北村聡 ほか
「東北のこころ～津軽の三味線と唄～」
6/30(土) 18:30 出演：嶋田あやか&タオ
いずれも天空ホール
- 講座「民族音楽紀行 海の道～アジアのマリンロード」
5/26(土)、6/23(土)、7/14(土)、9/29(土)、10/27(土)
いずれも14:00～16:00 研修交流センター 講師：江波戸昭
- ミュージアムサロン
5/3(木)「フラメンコギター&踊り」
5/4(金)「ワード&ダンス」
5/5(土)「韓国のチャング・コムンゴ・古典舞踊」
いずれも14:00、15:30 天空ホール

◆博物館日誌

- 1/4(水)企画展「写真で見る・ガリフナの音楽と踊り」開催中
- 1/14(土)講座「アフリカ民族音楽紀行」
第2回「南アフリカのポリフォニー」14:00
研修交流センター 講師：江波戸昭 参加者：16人
- 1/21(土)第125回レクチャーコンサート
「森の響き-ヴァルトホルン」14:00 音楽工房ホール
出演：塚田聡、小倉貴久子、鶴山健志 入場者：102人
- 1/24(火)講座「楽器の中の聖と俗」
第51回「石川煎輪島 御陣東太鼓/佐賀県唐島 浅浦面浮立」
18:45 展示室 講師：西岡信雄 参加者：14人
- 1/25(水)第126回レクチャーコンサート
「フラメンコ～ギターと歌と踊りの恍惚～」
19:00 音楽工房ホール
出演：鈴木尚、阿部真、大塚友美、土屋香 入場者：251人
- 1/29(日)講座「民族楽器による音楽セラピー」
第2回「みんなで輪～ドラムサークル」14:00
研修交流センター 講師：ロビン・ロイド 参加者：19人
- 2/3(金)第127回レクチャーコンサート
「木のラッパ～セルバンとコロネット」19:00
天空ホール 出演：濱田芳通、橋本晋哉、西山まりえ
入場者：57人
- 2/5(日)ミュージアムサロン
「ブルーグラスバンド」13:30、14:30
天空ホール 出演：カントリーフロンティア 入場者：125人
- 2/7(火)講座「楽器の中の聖と俗」
第52回「三重県津 唐人踊り/三重県鈴鹿 唐人踊り
/岡山県牛窓 唐子踊り」
18:45 展示室 講師：西岡信雄 参加者：12人
- 2/18(土)第128回レクチャーコンサート
「驚異の津波打楽器-サムルノリ」14:00
音楽工房ホール 出演：李昌燮サムルノリ 入場者：113人
- 2/19(日)ワークショップ「韓国の伝統太鼓 “チャング”を演奏しよう!」
18:00 展示室 講師：リチャンソプ 参加者：10人
- 2/20(月)～24(金)移動楽器博物館 浜松市立藤原小学校
- 2/21(火)講座「楽器の中の聖と俗」
第53回「鹿児島県いちき串木野 市来の七夕踊り
/鹿児島県西郷石島 ぼせ祭り」
18:45 展示室 講師：西岡信雄 参加者：17人
- 2/27(月)～3/2(金)移動楽器博物館 浜松市立富塚小学校
- 3/3(土)講座「アフリカ民族音楽紀行」第3回「コンゴ川を渡る」
14:00 研修交流センター 講師：江波戸昭 参加者：11人
- 3/17(土)講座「アフリカ民族音楽紀行」第4-5回(同時開催)
「ギニア海岸の三角貿易」「サヘルグリオたち」
13:30 展示室 講師：江波戸昭 参加者：17人
- 3/24(土)ミュージアムサロン
「ブルーグラスバンド」13:30、14:30
天空ホール 出演：カントリーフロンティア 入場者：104人

利用案内

常設展観覧料：大人400円 高校生200円
中学生以下・障害者・高齢者(70歳以上)は無料
開館時間：9:30～17:00
休館日：毎月第2・4水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、
その他施設点検等のための臨時休館日

浜松市楽器博物館だより

平成24年4月1日発行 No.68
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp
URL <http://www.gakkihaku.jp/>

「浜松市楽器博物館だより」は、ホームページからも見るすることができます。また、ホームページでは最新のイベント情報も紹介しています。ぜひご覧ください。